



生命の真理の追究と未知への挑戦

人類の福祉への貢献

京都大学の医学教育・研究においては、医学・医療の発展を担い、人類の福祉に貢献することを自らの使命と考え、基礎医学、臨床医学、社会医学の3つの分野において常に新しい医学領域の開拓と革新的な医療に関する高度な教育・研究を行っています。

また、病床数1,240床をもち、一日平均約2,300名の外来患者さんが来院される医学部附属病院においては、探索医療センター、医療安全管理室、卒後臨床研修センター、女性のこころとからだの相談室、外来化学療法部を新設するなど、良質な医療の創生や充実、発展に努めているほか、平成13(2001)年に完成した新しい外来棟や受付のシステムでは、患者さんの立場にたったサービスの向上と充実を念頭に、心地よく診療を受けられるようなアイデアを随所に盛り込み、より高い満足が得られる医療サービスの提供を目指しています。

さらに、平成16(2004)年には1,000例目の生体肝移植達成、翌17(2005)年には世界初の生体膵島移植を実施するなど、最先端の移植医療が行われています。



2



3



4



5



6



7

- ① デイ・サージャリー診療部における手術 (附属病院)
- ② 総合診療部における診察 (同)
- ③ 新外来棟に隣接して設けられた「京大病院前ホスピタルパーク」
- ④ 附属病院新外来棟ロビー
- ⑤⑥ デイ・サージャリー診療部における術後のステップダウン・リカバリーの様子 (附属病院)
- ⑦ 細胞ビデオイメージングを用いた薬剤作用解析 (医学研究科)